

第2期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画において 「今後把握」としている指標について

1 12歳児における要治療・要精検児童生徒の受診率

(1) 調査の状況

(出典:平成29年度宮城県児童生徒の健康課題統計調査(教育委員会))

区分	平成29年度(速報値)					平成28年度				
	受歯 検科 者健 診 n	受診 者 数 勧 告		受医 療 機 関 数 n	9 月 3 0 日 現 在 の % n	受歯 検科 者健 診 n	受診 者 数 勧 告		受医 療 機 関 数 n	% n
		n	%				n	%		
1学年	19,376	9,049	47.51	2,354	26.01	19,806	9,185	46.37	2,876	31.31
2学年	20,085	8,751	44.63	1,932	22.08	19,788	9,249	46.74	2,373	25.66
3学年	20,307	9,369	47.72	1,796	19.17	20,196	9,751	48.28	2,315	23.74
中学校計	59,768	27,169	46.61	6,082	22.39	59,790	28,185	47.14	7,564	26.84

(2) 課題(平成29年度歯科保健推進協議会での議論の経過等)

- ・ 調査が平成28年度から開始されたもので、指標として精度が十分か。
- ・ 「医療機関受診者数」について、調査票に記入方法の記載がなく、「受診勧告者数」のうち、医療機関を受診した者の数を記入することが不明確である。
- ・ 調査の趣旨としては、受診勧告者数を母数とするものであるが、現状として、受診勧告者以外の医療機関受診者が含まれている可能性は否定できない。

(3) 対応

- ・ 今年度(平成30年度)調査から、前年度(平成29年度)の医療機関受診者数確定値の報告を求める。→この項目は1年遅れて実績値が確定することになる。
- ・ 今年度調査から、受診者数の対象を受診勧告者数とする旨、下記の記入例のとおり注記する。
- ・ 標記調査を指標の基準とし、調査内容を明確化した平成30年度調査値(平成29年度以降分の確定値)をベースラインとして採用する。

《記入例案》

H29年度の歯科健診受検者数	平成29年度の歯科健診受検者数
H29年度の受診勧告者数	平成29年度の受診勧告者数(「歯列・咬合」「顎関節」「歯垢」「歯肉」の状態については、評価2のみ)
H29年度の医療機関受診者数	平成29年度の受診勧告者のうち、医療機関を受診した者の数

2 学校における昼食後の歯みがきの実施率

(1) 調査の状況

(出典:平成29年度宮城県児童生徒の健康課題統計調査(教育委員会))

問6 歯みがき習慣の定着に向けた取組を実施していますか。

(例) 昼休み時間の歯みがきタイムの実施 等

①	全学年で実施している
②	一部の学年で実施している
③	実施していない

単位：校（％）

	小学校	中学校	高等学校	支援学校	合計
①全学年実施	302 (79.7%)	89 (44.1%)	2 (2.8%)	19 (79.2%)	412 (60.9%)
②一部実施	37 (9.8%)	11 (5.4%)	0 (0%)	2 (8.3%)	50 (7.4%)
③実施なし	40 (10.5%)	102 (50.5%)	69 (97.2%)	3 (12.5%)	214 (31.7%)
合計	379	202	71	24	676 (100%)

(2) 課題（平成29年度歯科保健推進協議会での議論の経過）

- ・ 質問内容を指標とする事項と一致させる必要がある。

(3) 対応

- ・ 今年度調査から、上記質問を「学校における昼食後の歯みがきを実施していますか。」に変更する。
- ・ 標記調査を指標の基準とし、平成30年度以降の調査値をベースラインとして採用する。